

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾 第14回通常総会
第14期（2020年10月1日～2021年9月30日）事業報告書

第1 事業実施の方針

全国通訳案内士等の研修事業、江戸以来の伝統的な生活の知恵・生活思想の研修事業を行うとともに、出版物の発行及び電子媒体による情報発信事業を行う。

第2 財産及び収支の概要

1 2021年9月30日現在、正味財産は前年度より556,799円減少し、11,378,947円となった。

2 収入および支出

総括表

単位：円

	第14期	第13期	第12期	第14期の第13期に比較した増減額
	2020年10月～ 2021年9月	2019年10月～ 2020年9月	2018年10月～ 2019年9月	
総収入	35,090,749	41,050,723	49,783,320	△6,085,248
総費用（法人税等除く）	35,647,544	39,669,440	54,366,872	△4,367,299
正味財産増減額	△556,799	1,311,281	△4,703,586	

概要説明

本年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、当交流塾の主たる事業であるインバウンド関連の人材事業は、厳しい状況に置かれた。当交流塾の会員数に連動する年会費・入会金は、前年度に比較して、85.4%と減少した。会員の通訳案内士のなかにも、通訳案内士としての活動をあきらめて、他の業種に就職した者も少なくなく、15%程度の減少は、やむを得ないとの意見もあった。

これに対して、研修事業収入は、2018年度より縮小したものの対前年度比で131.2%と増加した。

その理由として、第1に、Zoom研修や収録動画によるeラーニングサービスが大幅に拡大した。受講生のZoomへの苦手意識も無くなり、首都圏以外の会員の積極的な参加が可能になった。本技術のおかげで、コロナ渦の中においても座学研修を以前のように実施することができ、研修事業の全体的な底上げとなった。また、その結果、東京での宗教講座、大阪での石井教授の受講者の範囲が相互に拡大した。さらに、富裕層を対象としたガイド養成研修であるプレミア・ガイド研修も売り上げ増に貢献した。

一方、支出面では、対前年度に比べ402万円総費用を圧縮した。

しかしながら、事業外収入については、前年度は、東京都及び国等からの助成金、会員からの寄付金などにより、640万円余の収入があった。これが大幅に縮小したので、55万円余の赤字が生じた。

【収入内訳】

	項目	2020 年度実績	2019 年度実績	2018 年度実績	
年会費収入	入会金	360,000 円	470,000 円	1,125,000 円	
	年会費	9,774,000 円	11,395,800 円	13,463,000 円	
	年会費・入会金計	10,134,000 円	11,865,800 円	14,588,000 円	
	同上対前年度比較	85.4%	81.3%		
研修事業収入	(1) 新人研修 計	2,760,462 円	3,410,568 円	9,087,311 円	
	(2) ガイド研修 計	16,279,987 円	8,728,330 円	11,536,567 円	
		座学研修	8,415,598 円		
		実地研修	1,427,549 円		
		語学研修	6,436,840 円		
	(3) 日本文化研修	3,105,036 円	4,977,686 円	9,194,213 円	
	(4) 登録機関研修	311,225 円			
	研修事業計	22,456,710 円	17,116,584 円	29,818,091 円	
同上対前年度比較	131.2%	57.4%			
出版事業収入	自主出版	1,769,452 円	4,061,376 円	1,076,807 円	
	著作権収入	550,285 円	1,597,991 円	781,782 円	
	出版事業計	2,319,737 円	5,659,367 円	1,858,589 円	
	同上対前年度比較	41.0%	304.5%		
年会費・事業収入計		34,910,447 円	34,641,751 円	46,264,680 円	
同上対前年度比較		100.8%	74.9%		
事業外収入	基金収入		853,000 円		
	補助金	70,000 円	3,000,000 円		
	物販・その他	110,302 円	2,555,972 円	3,518,640 円	
事業外収入 計		180,302 円	6,408,972 円	3,518,640 円	
総収入		35,090,749 円	41,050,723 円	49,783,320 円	
同上対前年度比較		85.5%	82.5%		

【費用内訳】

	項目	2020 年度実績	2019 年度実績	2018 年度実績
1.事業費				
(1)人件費	講師謝礼	5,432,137 円	7,666,548 円	12,455,880 円
	事業助手	335,918 円	1,018,193 円	
	(1)人件費 小計	5,768,055 円	8,684,741 円	12,455,880 円
(2)運営経費	業務委託費 (事務委託)	14,181,822 円	13,090,914 円	15,833,338 円
	支払手数料(事業)	1,031,952 円	813,240 円	1,306,993 円
	その他経費	5,733,885 円	6,510,512 円	4,080,489 円
	(2)運営経費 小計	20,947,659 円	20,414,666 円	21,220,820 円
1.事業費計		26,715,714 円	29,099,407 円	33,676,700 円
2.管理費				
(1)人件費	人件費	3,710,473 円	6,542,628 円	16,054,282 円
	(1)人件費 小計	3,710,473 円	6,542,628 円	16,054,282 円
(2)設備費他	システム利用料・通信費計	3,607,876 円	2,851,746 円	3,700,219 円
	その他経費	1,613,481 円	1,175,659 円	935,671 円
	(2)設備費他 計	5,221,357 円	4,027,405 円	4,635,890 円
2.管理費計		8,931,830 円	10,570,033 円	20,690,172 円
費用計		35,647,544 円	39,669,440 円	54,366,872 円
同上対前年度比較		90.0%	73.0%	

第3 活動実績の概要

1 会員総数

期数	第14期	第13期	第12期
年	2020年10月 ～2021年9月	2019年10月 ～2020年9月	2018年10月 ～2019年9月
個人会員数	1,286人	1,516人	1,702人
入会金	360,000円	470,000円	1,125,000円
年会費	9,774,000円	11,395,800円	13,463,000円
入会金・年会費計	10,134,000円	11,865,800円	14,588,000円
同上対前年度比較	85.4%	81.3%	

【入会者数と退会者数経緯】

	前年度末 会員数	入会者数(A)	退会者数	年度末 会員数	退会率	全国通訳案内 士試験合格数 (B)	(A) / (B)
2018年	1,662人	315人	253人	1,724人	15.22%	1,649人	19.10%
2019年	1,801人	176人	275人	1,702人	15.27%	753人	23.37%
2020年	1,702人	94人	280人	1,516人	16.45%	618人	15.21%
2021年	1,516人	64人	294人	1,286人	19.39%	489人	13.08%

説明

第14期の年会費収入は、第13期と比較して85.4%に減少した。

その理由は、以下のとおりである。

①全国通訳案内士試験の合格者数の減少に伴い、入会者数が減少している。

②ここ数年の入会者数は、通訳案内士試験の合格者の15%～23%となっているが、2021年の比率は13%と低かった。新人研修の実施が春季の定例期に実施できなかったことが一因である。

③ここ数年の退会者数は年度末会員数の一定比率(15%～17%)となっているが、2021年の比率は19.4%と平均より高かった。新型コロナウイルス感染症によるインパウンドの縮小により、通訳案内士としての活動をあきらめた者が多かったことも、一因と考えられる。

④以上の結果、2021年度は退会者数が入会者数を上回っており、年会費・会費収入が減少した。

2 会員の研修事業

全体の概要

期	第14期	第13期	第12期
年月	2020年10月～ 2021年9月	2019年10月～ 2020年9月	2018年10月～ 2019年9月
金額	22,456,710円	17,116,584円	29,818,091円
対前年度比較	131.2%	57.4%	

(1) 全国通訳案内士 新人研修

2021年1月から9月まで

講座・研修		実績額(円)
関東A日程	I 講義①②、成田送迎バス、II箱根バス、III都内バス、 IV日光バス、V講義③④、プレゼン演習 (2班で実施)	2,760,462円 (前年比 80.9%)
関西B日程		
	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II京都バス①、 III奈良バス、IV京都バス②、V講義③④、プレゼン演習	

※ただし、内8日は新型コロナウイルス感染症の影響で2021年11月、12月に延期して実施された。

2020年1月から9月まで

講座・研修		実績額(円)
関東A日程	I 講義①②、成田送迎バス、II箱根バス、III都内バス、 IV日光バス、V講義③④、プレゼン演習	3,410,568円 (前年比 37.5%)
関東B日程		
関東E日程		
関西C日程	I 講義①②、関空送迎・大阪城、II京都バス①、 III奈良バス、IV京都バス②、V講義③④、プレゼン演習	
関西D日程		

説明

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、以下行程は延期しての実施を余儀なくされた。

新人研修・関東Aコースの一部	2021年4月実施予定を、12月に実施
新人研修・関西Bコース	2021年6月実施予定を、11月に実施

- ・昨年に引き続き、受験者数の減少と新型コロナウイルス感染症の影響により、受講者数は低迷した。

(2) ガイド研修

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
プレミアムガイド研修	14,908,658 円 (前年比 195.7%)
座学系の研修（先輩ガイドに聞く 10、通訳案内士の為の宗教講座、ゼネラルトピック演習、禅と日本文化ほか）	
まち歩き研修（フォトスポット研修）	
通訳技術養成講座	
医療通訳講座	
語学研修（初めての通訳訓練法、フランス語で〇〇案内、スペイン語版説明テクニックほか）	
関西講師	

2019年10月から2020年9月まで

講座・研修	実績額(円)
豊洲・築地まち歩き	7,617,603 円
相撲稽古場見学／土俵祭り	
座学系の研修（Ash 先生レクチャー、先輩ガイドに聞く、コントロールパネル対策研修）	
鎌倉、秋葉原、銀座、皇居・東御苑、横浜等まち歩き	
プレゼン演習	
その他ガイド（和太鼓、語学指導講師養成研修、講演等）	
Zoom 研修（ネイティブレッスン、バーチャルツアー等）※新規事業	
関西研修	

説明

①研修増の主たる理由は、オンライン受講者の増大であった。

②プレミアム・ガイド研修の実施

GICSS 研究会と協力してプレミアム・ガイド研修を実施した。トップガイドを養成する全 14 日間のプログラムで、VIP や富裕層に対応できる、幅広い分野で高い専門性を備えたガイドを育てることを目的とする。プレゼンの評価者や最終試験官は、実際の旅行会社のアサイン権を持つ人間も担当し、仕事に直結するのも特徴である。

講座名	受講者数	売り上げ
プレミアム・ガイド研修	42 名	4,355,200 円

③通訳技術養成講座、医療通訳講座の実施

Zoom を活用し、通訳関連の講座を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響でガイドの仕事が少ない間に研鑽を積みたいという要望とマッチし、多くの受講生を集めた。新年度は、通訳技術の中級を実施していく。

講座名	受講者数	売り上げ
通訳技術養成講座（初級）	46 名	1,596,500 円
医療通訳講座（全 20 回）	25 名	3,690,500 円
計	71 名	5,287,000 円

④通訳案内士の為の宗教講座（全 4 回）

米原理事長が講師を担当し、4 回合計の受講者数は 663 名で、売り上げは 1,465,700 円。日本文化体験交流塾主催の研修としては、IJCEE 会員だけでなく他団体の受講生も多く、好評を博した。

(3) バス・地方研修

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
バス研修（中部バス研修、名古屋まち歩き、金沢まち歩き、奥多摩バス研修、富士山・河口湖研修）	1,371,329 円 (前年比 123.4%)

2019年10月から2020年9月まで

講座・研修	実績額(円)
バス研修（山陽バス研修）	1,110,727 円 (前年比 55.4%)

(4) 日本文化研修

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
英語による茶道教室	3,105,036 円 (前年比 62.3%)
折り紙・風呂敷体験講師養成講座	

日本文化研修は、ZOOMでの実施はかなり困難であったが、手元カメラの活用などにより、一定程度、実施を図った。

2019年10月から2020年9月まで

講座・研修	実績額(円)
英語による茶道教室	4,977,686 円 (前年比 54.1%)
着物講座（着付け講座、着せ付け講師養成）	
料理研修（寿司づくり初級・中級・上級、精進料理等）	
その他日本文化（書道、ジャパカル等）	
折り紙・風呂敷体験講師養成講座	

説明

・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、茶道教室以外の会場での日本文化研修は、実施が無かった。

・結果、コロナ以前である2019年度対比、33.7%の落ち込みとなった。

・現状を鑑みて2021年3月より折り紙講師養成講座をZoomにより実施。好評を博す。

2021年10月以降は、同じスキームを使って寿司づくり研修や風呂敷研修等を実施。遠隔での受講を可能にしている。

・茶道教室にもZoomを導入。緊急事態宣言中の一部の授業は、Zoomを通して行われた。

(5) 通訳案内研修（登録研修期間研修）

2020年10月から2021年9月まで

講座・研修	実績額(円)
通訳案内研修（会場での実施）	311,225 円
通訳案内研修（オンライン受講）	

説明

・2021年2月より、登録研修期間研修を開始した。全国通訳案内士の資格取得後、5年に一度受講する必要がある研修であり、今後持続的に実施していく。

・当初は会場での座学研修のみだったが、新型コロナウイルス感染症の現状も鑑み、2021年9月よりオンラインでの通訳案内研修も開始した。

本オンライン研修は、e-ラーニングと単元テストを活用することにより、在宅で修了試験まで受講することが出来、後日修了証も日本文化体験交流塾より郵送され、会場で受講するものと遜色ない内容となっている。

これにより、書き換えの為に会場へ出向く必要が無くなり、首都圏以外の人も受講がしやすくなった。また、常時受け付けの為に、実施日や実施時間に左右されないことも利点の一つである。

3 出版事業

期 数	第 14 期	第 13 期	第 12 期
	2020 年 10 月～ 2021 年 9 月	2019 年 10 月～ 2020 年 9 月	2018 年 10 月～ 2019 年 9 月
自主出版	1,769,452 円	4,061,376 円	1,076,807 円
著作権収入	550,285 円	1,597,991 円	781,782 円
計	2,319,737 円	5,659,367 円	1,858,589 円
対前年度比較	41.0%	304.5%	

説明

第 14 期の売り上げは、出版全体の売り上げの内、日本文化体験交流塾発刊の書籍に限った金額である。新人研修の受講者減の影響から新人研修テキストの販売も不調で、前年と比べ売り上げが減少した。また、第 13 期にあった「TJT に販売したテキストおよびテキスト作成・使用料」計 3,508,869 円が、本年は発生していないのも大幅な減収の要因。

①自主出版は日本文化体験交流塾が作成して発行している書籍の合算。

【日本文化体験交流塾発行の主な書籍】

通訳ガイドのための観光ガイドブック「京都編」※	2020 年発刊。観光地域ごとの歴史を紹介。
通訳案内士のための基本知識 ガイド実務編	新人研修テキスト
国際人のための日本文化の基礎知識	新人研修テキスト
ジャパニーズカルチャーシリーズ	日本文化を体系的に学ぶ基本テキスト 他

※2021 年に出版した、東京編以降の「地域の歴史が学べる観光ガイドブック」は、TJ 出版から発行。

②著作権収入は、三修社から発行しているテキストの印税収入の合計。

【三修社より発行している主な書籍】

全国通訳案内士試験「実務」合格！対策	全国通訳案内士試験「英語 1 次（筆記）」合格！対策
全国通訳案内士試験「歴史」合格！対策	全国通訳案内士試験「英語 2 次（口述）」合格！対策
全国通訳案内士試験「地理」合格！対策	

③今期より、出版事業の中心を True Japan Tour 株式会社に移管した。

その理由としては、出版事業は、収益事業の性格が強く、True Japan Tour 株式会社において、Amazon での販売登録や Kindle 対応を進めることとした。

参考 TJ 出版として、True Japan Tour 株式会社から発刊した書籍

地域の歴史が学べる観光ガイドブック 東京編
地域の歴史が学べる観光ガイドブック 近畿岡山県編
True Japan Keywords 600 Vol.1～3
通訳問題 200

第4 支出について

1 アサイン丸に要した経費は、以下のとおりである。

第14期	第13期	第12期
2020年10月～ 2021年9月	2019年10月～ 2020年9月	2018年10月～ 2019年9月
1,883,442 円	2,320,015 円	2,626,340 円

2 職員数（2021年9月末現在）

- ・常勤職員 1名（2019年：2名）
- ・非常勤 0名（2019年：3名）

※身軽な体制とする為に、TJT との間で帰属を調整しつつ、柔軟な対応で運営している。

3 業務委託費

機械振興会館の諸施設は、True Japan Tour 株式会社が借り上げている。日本文化体験交流塾は、こうした施設の利用や、IJCEE への出向社員やスペース利用、光熱水費、通信費等の経費として、業務委託を実施している。

(参考) True Japan Tour 株式会社の事業報告について

特定非営利活動法人日本文化体験交流塾が出資する True Japan Tour 株式会社の事業は、以下のとおり報告された。

第1 決算報告書 (抜粋)

貸借対照表

令和03年09月30日 現在

True Japan Tour株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	259,365,399	【流動負債】	9,465,842
現金及び預金	207,966,721	買掛金	1,719,016
売掛金	30,988,138	短期借入金	4,000,000
商品	1,261,641	未払金	413,593
仕掛品	6,486,652	未払費用	1,223,830
短期貸付金	6,000,000	預り金	715,503
未収入金	5,777,300	未払法人税等	1,393,900
前払費用	308,886	【固定負債】	193,556,000
預け金	576,061	長期借入金	193,556,000
【固定資産】	46,138,954	負債の部合計	203,021,842
有形固定資産	9,397,410	純資産の部	
建物附属設備	6,577,200	科目	
工具器具備品	2,820,210	金額	
無形固定資産	4,300,744	【株主資本】	102,482,511
電話加入権	134,999	資本金	150,000,000
ソフトウェア	4,165,745	資本剰余金	3,500,000
投資その他の資産	32,440,800	資本準備金	3,500,000
敷金	21,440,800	利益剰余金	△ 51,017,489
差入保証金	11,000,000	その他利益剰余金	△ 51,017,489
		繰越利益剰余金	△ 51,017,489
		(うち当期純損失)	△ 43,090,432
		純資産の部合計	102,482,511
資産の部合計	305,504,353	負債・純資産の部合計	305,504,353

損益計算書

自 令和02年10月01日

至 令和03年09月30日

True Japan Tour株式会社

(単位：円)

科目	金額	
【売上高】		
売上高	295,858,855	295,858,855
【売上原価】		
期首商品棚卸高	975,706	
原価(外注費)	85,017,472	
原価(その他)	130,536,511	
合計	216,529,689	
期末商品棚卸高	1,261,641	215,268,048
売上総利益		80,590,807
【販売費及び一般管理費】		135,823,742
営業損失		△ 55,232,935
【営業外収益】		
受取利息	43,479	
雑収入	15,731,266	15,774,745
【営業外費用】		
支払利息	938,166	
雑損失	1,300,000	2,238,166
経常損失		△ 41,696,356
【特別利益】		
【特別損失】		
税引前当期純損失		△ 41,696,356
法人税等		1,394,076
当期純損失		△ 43,090,432